

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第123号(2017. 6. 1)
事務局 川西地区自主防災会

第5回かがわ自主ぼう連絡協議会定期総会が開催されました

平成29年5月16日(火)16:00より、e-とぴあ・かがわ5階BBスクエアにて香川県危機管理総局山田総局長様、危機管理課溝渕様、藤沢様、柴田様をお迎えして第5回定期総会を開催。

開会の辞を吉原副会長から申し上げ総会を開会。

岩崎会長挨拶

皆様、改めまして、今日は、第5回目を迎えました、かがわ自主ぼう連絡協議会総会に当たりまして主催者を代表致しまして、ご挨拶を申し上げます。

公務お忙しい中、山田総局長様には、ありがとうございます。



岩崎会長 挨拶

フォローアップ事業も5年位たち各地域の役員、会員の皆様によって非常に中身の濃い訓練が出来ております、それから地域間の連携が非常に強くなっていると思います、私も防災以外で連合自治会、共同募金、日本赤十字の仕事に係っておりますが、やはり防災で培った人との繋がり、ネットワークが非常に色々な仕事する中で生きて来ておることを直感しております、まる10年を超えて、これから20年に向かって進めて行く訳で御座いますが、先程の役員会の中でも少し年齢の話も皆様から出ておりましたが、これから若い人にも入って頂き、組織の活性化に努めながらこれからの運営を進めて行こうと思っております、今後尚一層香川県危機管理総局殿のご指導を頂きながら全国的にまれにみる、かがわ自主ぼう連絡協議会として地域防災力に頑張っていきたいと思っておりますので、これからは、いっそう会員の皆様、役員の皆様のご尽力をお願い申し上げます、主催者としてのご挨拶とします、本日は誠に有難うございました。



吉原副会長 開会の辞

来賓挨拶

危機管理総局山田総局長様

今紹介頂きました香川県危機管理総局の山田で御座います、皆様今日は、かがわ自主ぼう連絡協議会の平成 29 年度定期総会が開催されるに当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

岩崎会長を初めましてかがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方には香川県の自主防災活動の牽引役として組織の結成促進と活動の活性化に積極的に取り組まれており、深く敬意を表します、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

また、昨年度におきましては、熊本地震の被災地への炊出し部隊の派遣、そして 11 月にはシェイクアウト訓練に合わせて特別養護老人ホームにおいて、避難訓練や消火器訓練の指導等非常に幅広い分野でご活躍、ご協力頂き深く感謝致します。ご案内のとおり、南海トラフ地震の今後 30 年以内の発生確率が 70%程度と高まっております、香川県におきましても、海溝型、熊本地震のような直下型を問わず大規模地震が何時発生してもおかしくない状況にあります、また最近では、雨の降り方も変わってまいりまして、極地化、集中化、激甚化と言ったものが珍しく無くなっております、台風や集中豪雨にも注意が必要となっております、こうした中で防災、減災対策を効果的に進めまして人的被害をゼロに近づける、この為には皆様方のような地域における普段からの自主防災活動、これがより重要となっております、過去の大規模災害を見ましても日頃から訓練や防災教育に取り組んで貰えた地域では他の地域に比べて犠牲が少なく済んだと、こう言う事例を幾つも聴いております、また大規模災害になればなるほど行政による公助は遅れてしまいます、自分の安全は自分で守る自助、地域の安全は地域の住民が助け合って守る共助、これを進める事が被害を少なくし災害に強い街づくりに繋がります、県におきましても今年度も引き続き県民の皆様の方の防災意識の向上と自主防災組織の充実強化に一生懸命に取り組んでまいりますので、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方にはよりいっそうのご協力、お力添えをお願いしたいと思います。

ところで香川県では依然として交通死亡事故が多発しております、昨日現在で交通死亡事故死者数は 22 名、人口当たり全国ワースト一位と言う非常に厳しい状況が続いております、皆様方には、改めてと言う事になりますが、交通事故に遭わない、交通事故を起こさないと言う、強い気持ちを持って頂き、交通ルールの厳守と交通マナーの確実な実践に努めて頂きますよう、お願い申し上げます。結びに、かがわ自主ぼう連絡協議会の今後益々のご発展と皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念しましてご挨拶とさせていただきます、本日は総会おめでとうございます。



山田総局長 ご挨拶



ご来賓（香川県危機管理課の皆様）

山田危機管理総局長様に力強いご挨拶頂き、ありがとうございました。

引き続き岩崎会長が会則に従い議長となり、平成 28 年度事業報告及び決算報告について審議しましたので簡単に取りまとめ、平成 28 年度事業報告と平成 29 年度事業計画について報告します。

< 平成 28 年度事業報告 >

1. 自主防災活動・結成促進フォローアップ事業

- (1) 訪問によるコンサル活動 14 件
- (2) 教育機関と連携した防災訓練 15 件
- (3) 自主防災会等対象とした防災訓練 13 件
- (4) 福祉団体と連携した防災訓練 5 件
- (5) シェイクアウトプラス 1 訓練 4 件



2. 香川県シェイクアウト訓練の参加

平成 28 年 11 月 4 日（金）11:00～実施。自主防災関係者は 30,438 人総参加者の 12%であった。団体トップは高松市木太地区自主防災会連合会の 10,290 人です。

3. 会報の発行（防災・減災の輪）

110 号から 121 号まで発行。最近の発行部数は 428 部です。

< 平成 29 年度 事業計画 >

1. 自主防災活動、結成促進フォローアップ事業 6 年目の基本的取組み

- (1) 香川県が実施する「自主防災活動アドバイザー派遣」事業と連携を密にした取組を行う。
- (2) この 2～3 年、フォローアップ事業に参画していない地域の行政等を訪問し、この事業の趣旨説明等を行い、未実施地域への掘り起し活動を行う。併せて毎月発行の会報を活用して、事業促進チラシなどによってフォローアップ事業の PR を行う。
- (3) 日本赤十字香川県支部や香川県共同募金会、市町募金委員会と連携を密にして備蓄活動の推進を図る。
- (4) 「シェイクアウト」プラス 1 訓練の広域拡大を図る。

2. 市町別具体的取組み

(1) 地域主催防災訓練へのフォローアップ

- | | |
|---------------|----------------|
| ①高松地区……………3 件 | ②坂出地区……………1 件 |
| ③丸亀地区……………2 件 | ④観音寺地区……………2 件 |
| ⑤三豊地区……………2 件 | ⑥さぬき地区……………3 件 |
| ⑦東かがわ地区………1 件 | ⑧宇多津地区……………2 件 |
| ⑨琴平地区……………2 件 | |

(計 18 件)

(2) 教育機関(防災学習)へのフォローアップ

- ①高松地区……………1
- ②坂出地区……………2
- ③丸亀地区……………5
- ④観音寺地区……………1
- ⑤さぬき地区……………2
- ⑥三豊地区……………2

(計 13)

(3) フォローアップ事業、底辺の拡大(掘り起し)

- ①小豆島郡エリア(土庄町、小豆島町)
- ②まんのう町
- ③多度津町

(4) 「シェイクアウト」プラス1訓練の広域化

- ①高松地区……………2 施設②坂出地区……………2 施設⑦観音寺地区…1 施設
- ③丸亀地区……………2 施設④善通寺地区……………1 施設⑧東かがわ地区…1 施設
- ⑤三豊地区……………1 施設⑥さぬき地区……………1 施設

(計 11 施設)

(5) 避難所設営、土砂災害エリアの避難行動等の支援活動

3. 香川県が実施する事業への支援

- (1) アドバイザー派遣事業への支援
- (2) シェイクアウト訓練参加自主防災組織の拡大
- (3) 防災週間に実施する、シンポジウム へ参加支援
- (4) リーダー研修への参加協力とカリキュラム支援
- (5) 総合防災訓練カリキュラム並びに開催地自主ぼうへの訓練支援

4. 会報(防災・減災の輪)の発行

毎月発行を維持すると共に、誌面の構成等に工夫を重ね多くの人に読んでもらえる内容作りを目指したい。

- (1) 女性、原稿を多くする
- (2) マンガ、写真を多く取り入れる
- (3) 各地域の情報を取り入れる



< 平成 29 年度予算 >

総額 2,785,050 円

(内訳)・フォローアップ対策	1,950,000 円
・ 交通費	382,000 円
・ 人件費	240,000 円
・ 印刷費	100,000 円
・ 通信費	48,000 円
・ 諸経費等	65,050 円

<かがわ自主ぼう「役員を選任」について>

坂出地区で選任されていた横川氏（平成28年6月逝去）の後任として大石徳壽氏が新たに理事として加わった。

< 役員会報告 >

総会に先立ち、午後2時から役員会を開催。以下の事項について議論を行なった。

1. かがわ自主ぼう連絡協議会の顕彰制度の確立について

<制度の目的>

ボランティア活動を主とした自主防災活動のより継続性を高めるために優秀な活動・取組みを行なっている団体や個人に対して顕彰を行なうことによって、組織の活性化や人材の育成につながる。

約1時間このテーマについて議論を行ない、あらためて正式（文書）に香川県に要請することとした。

2. 本年度の会報原稿の担当割について協議を行なった。

以上



役員会の模様

今月は、岩崎会長より原稿を寄せていただきました。

< 追憶 > 小西百々代さんの思い出

平成29年5月6日85才にて次世代へ旅立った、故小西百々代さん（元宮武画廊オーナー）に哀悼の言葉を贈り、ご冥福をお祈りしたい。

百々代さんとの出会いは香川県並びに経済界有志の皆さんによって取組んだ「世紀超え」イベントの実行委員会でありました。

日米の時差を利用して、日本は2000年、アメリカは1999年と、21世紀VS20世紀という日付変更線を挟んだ世紀越えのイベント、具体的な内容として日本側は栗林公園をベースに日本文化を映像にして「アメリカ」へ、「アメリカ」からはニューヨークからは日本人による演奏会の模様を映像伝



送して香川県へ。とにかく香川県とニューヨークを結ぶ回線設定するのが私（岩崎）の仕事で、百々代さんは女性プロデューサーのような役回りでありました。

この仕事をキッカケにおつきあいさせていただき、約10年間宮武画廊において、写真展を開催させていただきましたが、一度も画廊利用料を受けとってくれませんでした。いつも「そんなお金があるのであれば、カメラとかレンズを買っては…！」と言われ、無料で写真展を開催させていただきました。百々代さんには多くの文化人や経済人を紹介していただき、今日の人脈のベースが出来あがったものと感謝しております。

約1年前携帯電話でお話ししたのが最後のこととなりました。「私は間もなく、西の国へ行きますが…あなたは体に気をつけて、世の中の為に頑張ってください」と言われたのが百々代さんの最後のメッセージでした。

シャイなお方であり、世の道すじとなるお話しを多く語っていただいた「小西百々代」さん、安らかにお休みください。…合掌。

文章 岩崎正朔

編集後記

今月の防災減災の輪は、かがわ自主ぼう連絡協議会総会の模様を掲載させていただきました。ありがとうございました。